

ワクワク通信

お客様とイバセキを結ぶホットライン

9月号 2022



紙上展示会

素敵なリフォームを多数掲載！

夢が広がる楽しい空間へ



リフォームするなら
イバセキにご相談を！



ガス器具買うなら
お得なこの機会に！



お手元のこの冊子を
チェック！



九ヶ岳を起動して
スマホでチェック
WEBカタログはコチラから



この紙面が届く頃にはすっかり秋の気配に変わっていると思いますが、コロナはどうなっているのか？加えてここ所、暗い話題も多く、スッキリ秋晴れ気分とは行かないと思われている方も多いのではないかでしょうか？

さて8月の日曜日仕事先から誘われて都心から一番近いゴルフ場に行って参りました。（昨年手術入院をしてから1年近くゴルフを控えておりましたが、リハビリを兼ねて5月頃からボチボチ始めておりました）

そこは「若洲ゴルフリンクス」都心から良好なアクセスで三方を海に囲まれた美しいロケーション。豊かな緑の向こうに広がる海と高層ビル群が特徴のゴルフ場で、都営パブリックコースながら、日本で一番予約の取り辛い事でも有名なだけです。

「新夢の島」という名称にとても近づいています。



海風薫る、クラブハウス

ガス/灯油の 価格変動について

ロシア軍がウクライナに侵攻した影響で、世界的にエネルギー価格の再上昇が予想されます。ガスは2カ月前に検針票のメッセージで、灯油は1週間前にチラシでその都度お知らせしておりますので、ご覧くださいますようお願い申し上げます。

今年も紙上展示会の時期がやってきました！
昨年好評を頂いたリフォーム特集と、
お買い得なガス器具をお見逃しなく！



今を切りとる
新・夢の島
社長工ツセイ

曇天ながら海風を感じながら広い

フェアウェイに打つショットはとて
も気持ちよく、ディズニーリゾート
やお台場、湾岸線の海底トンネル入
口やマンション群の風景。すぐ隣の

発行元：茨石商事株式会社
TEL: 0299-24-2680
<http://www.ibaseki.com>



都心ならでは、ビル群のビュー

ゲートブリッジ（恐竜橋）や巨大な風力発電プロペラもアクセントになつて良い雰囲気を醸し出しております。久し振りにリゾート気分でストレス解消を味わい楽しんだこの場所：かつては「新夢の島」と呼ばれた15号埋立地のゴミ処分場でした。高さ150mのビル群が並んでいます。度経済成長に伴い、大量の廃棄物で埋立てられた夢の島（14号地）に続く新夢の島（若洲）も蝶や鼠が蔓延る公害の島の象徴でした。しばしばゴミから発生したメタンガスによる火災も起こったようです。1965年から始まった埋立も1974年には終了。1960年には若洲臨海公園として、ゴルフ場やキャンプ場、ヨット訓練所、海釣り施設、サイクリングロードといった施設が整備され、隣接する区立若洲公園と合わせて都民の憩いの場として親しまれている様です。今では昔の姿は想像出来ませ

んが（多少が
スは出る）、
「新夢の島」
という名称に
とても近づいて
いると思いま
す。

立若洲公園と合わせて都民の憩いの場として親しまれている様です。今では昔の姿は想像出来ませ



地元のウィスキーを味わうお店

こんにちは！下戸ですがウィスキーを嗜み大人の階段を登りたい中村です。

7月に石岡駅（ステーションパーク内かんばん横丁）にオープンした「日の丸ウイスキー」では木内酒造八郷蒸溜所で造られた、およそ14種のウイスキーと自家製ビールなどが頂けます。テイスティングというと敷居が高そうですがウイスキーをちょっとずつ、たくさん楽しめる、明るく優しい雰囲気のお店です。おススメのお品や、特徴など丁寧に教えてくれるので、私のような初心者でも居心地良く楽しめました！

ここはテイスティングということで、7種のウイスキーを頂きました。下戸の私が言うのもなんですが、熟成期間が長い方がより深みを感じましたし、樽の違いで味も香りも全く異なるのだと知りました！（当たり前とのつっこみはご勘弁を！）

メニュー等の詳細は日の丸ウイスキーのホームページから確認してみてください。下のQRコードから直接見られます。

気軽に地元のウイスキーを楽しめるお店、知ることができてよかったです。

皆様も是非、ご賞味下さい！

以上、大人の階段を1段登った中村でした。



日の丸ウイスキー 石岡 Tasting Room

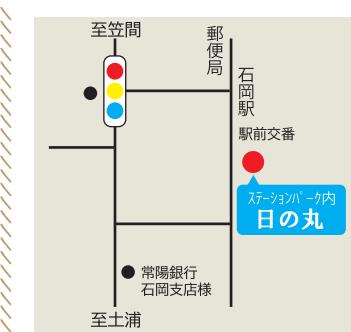
〒315-0014 石岡市国府 1-1892-3

tel. 080-7304-3215

平日 : 15 ~ 21 時 (L.O 20:30)

土日 : 11 ~ 17 時 (L.O 16:30)

定休日 : 水・木曜日



15ml ロック



メニュー表
QR コード



下妻市にある関東最古の八幡宮として有名な「大宝八幡宮」にて、毎年9月12日と14日に『タバニカ祭り』といふお祭りが開催されている。この祭りは、白装束の青年たちが火を振り回して、参詣の人々を追いかけるという、全国でもここでしか見ることのできないもので、火の粉を浴びて災厄を退けるという奇祭で、他には見ない大変ユニークなお祭りである。タバンカタバンカと音を立てながら闇夜を動き回るいくつもの炎と、覆面をした白装束の氏子たちの姿は、タバンカ祭りが奇祭と呼ばれる意味が理解できる。



『タバニカ祭り』の様子

そして、大松明の御神火をいただいた松明（たいまつ）を両手に持つた所役が、松明を振り回しながら境内を駆け回り、時に、参詣人を追いかけたりする。その火の粉を浴びると火の災いを免れるといわれ、参拝客などが歓声を響かせながら火の粉を浴びている。尚、この祭礼が行われている「大宝八幡宮」の「大宝」とは「黄金」のことである。金運のあるパワースポットとしても有名である。販売前の宝くじを神社に持ち込み高額当選を祈願したところ多くの当選者が出了ことで知られ多くの人が祈願に訪れる。

ふるさと紀行

大宝八幡宮

『タバニカ祭り』

その起源は、応安3（1370）年、大宝寺別当坊の賢了院でボヤが出た際に、剥がした「畠」と、「鍋ぶた」を使って火を消し止めたという故事を戯曲化したのが始まりだといわれている。この祭りは別名「冬瓜まつり」とも呼ばれているようだ、冬瓜を神前に献上する。神前に巴型に並べられた畠と、その中央の鍋ぶたに、御飯と冬瓜を盛った「カワラケ（素焼きの平皿）」を乗せ供えられ、それを祝詞奏上の後、祭の所役である白装束の氏子青年が拝殿前へ放り投げる。夜7時の、太鼓の音が、祭り開始の合図となり。このとき砕けた「カワラケ」の破片を拾った人は病気をしないといわれ、参詣の人々が拾うために競い合う。この時に発する「バタンバタン」という音からタバニカの名が起こったと伝わっている。

そして、大松明の御神火をいただいた松明（たいまつ）を両手に持つた所役が、松明を振り回しながら境内を駆け回り、時に、参詣人を追いかけたりする。その火の粉を浴びると火の災いを免れるといわれ、参拝客などが歓声を響かせながら火の粉を浴びている。尚、この祭礼が行われている「大宝八幡宮」の「大宝」とは「黄金」のことである。金運のあるパワースポットとしても有名である。販売前の宝くじを神社に持ち込み高額当選を祈願したところ多くの当選者が出了ことで知られ多くの人が祈願に訪れる。